

新潟市中央区社会福祉協議会 平成24年度 新規事業一覧

1. 地区社会区福祉協議会活動の推進・支援

	新規／拡充	事業名	実施時期	目的	内容
1	新規	福祉協力員事業(助成)【あったかNW助成改称】	通年事業	担い手の育成／組織化	民生委員、自治・町内会役員とは別に自治・町内会の見守り活動等を進めるため、福祉協力員事業として助成を行う。白山浦2丁目モデル。
2	新規	地域座談会の定例化	通年事業	地域課題の共有・解決	地域ブロックを踏まえた座談会を各地域社協連絡会ごとに行う。
3	拡充	地区社協とコミ協の圏域一致	平成24年度中	地域福祉活動の活性化	地区社協とコミ協の圏域を24年度中に一致させ、地域コミュニティの地域福祉活動の効率化と活性化を図る。
4	拡充	地域社協活動センターの充実	通年事業	地域福祉活動の活性化	しもまち・江東地域社協活動センターにおいてさらに地域に密着した活動を充実する。

2. ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク事業ほか個別支援事業

		事業名	実施時期	目的	内容
1	新規	中央区地域福祉推進フォーラム	12月 2日(日) (予定)	市民啓発	各地区の見守り活動等の実践発表を通して中央区全体の意識向上、取組みにつなげる
2	新規	買い物支援モデル事業(県/県社協助成)	—	見守り／食の確保	しもまち地域の1地区を指定し、地域の社会資源と協力しながら買い物支援を行う。しもまち地域社協活動センターを拠点とする。
3	拡充	配食サービス×買い物支援事業	通年事業	見守り／食の確保	単身または高齢者のみ世帯等、食事づくりが困難な世帯へ安定的に配食すると同時に、生活必需品の配達も行う。総合生協と協力実施。
4	新規	男性向け地域の茶の間の立ち上げ支援	通年事業	交流／見守り	男性向けの地域の茶の間が少ない現状で、孤立する可能性のより高い男性の交流機会を積極的に創出する。
5	新規	新しいタイプの訪問事業の検討	1年(検討期間)	社会的孤立の防止	地域福祉ネットワーク会議などの場を利用して検討を行い、行政に具申→25年度の予算措置を目指す。
6	拡充	友愛訪問事業の区内全域拡大	通年事業	組織化／社会的孤立の防止	しもまち地域に未実施地区が数カ所あり、働きかけをしながら実施の方向に持っていく。

3. ボランティア・市民活動センター事業

		事業名	実施時期	目的	内容
1	拡充	ボランティア・市民活動センターの窓口機能強化	通年事業	相談・窓口機能の充実	古町地区への移転によるサービス低下をふせぐため、総合福祉会館の1階に設置した窓口の充実を図る。
2	拡充	出会いのきっかけづくりパーティ	年2回	機会の提供(結婚のきっかけ)	抽選で漏れる応募者や、民生委員、自治・町内会長からの要望もあり、夏・冬の年2回開催とする。

4. 広報・啓発／相談事業

		事業名	実施時期	目的	内容
1	新規	交流スペース貸出事業	通年	交流スペース活用	区社協事務所の交流スペースを企業・団体等に貸出し、社協の認知度を高めるとともに古町地区の活性化の一助とする。
2	新規	まちなか総合相談窓口の開設	通年	相談・窓口機能の充実	介護等の相談窓口を定期的に開設し、適切なサービス等につなげる。

5. 組織運営

		事業名	実施時期	目的	内容
1	新規	区災害ボランティアネットワーク委員会	2年	災害ボラセンマニュアル作成ほか	大規模災害を踏まえた区災害ボラセン及びサテライトの体制整備、マニュアル作成を理事・関係機関と委員会を設置して行う。
2	新規	中央区社協 オアンスプラン中期計画の改訂	25年度から26年度	中期ビジョンの確認	策定から数年経過したため、市社協の方針、区地域健康福祉計画を踏まえた改訂を行う。